

■**関根金次郎** 将棋棋士。自ら世襲名人から引退して、実力名人制を導入し、将棋界の近代化を実現した。
せきねきんじろう
明治維新・・1868＝ 下総の東葛飾二川村(現在の千葉県関宿町)に生まれる。父は農業を営む傍ら、近所の子どもたちに算盤を教
えていたが、家は貧しかった。

明治6年政変 1873＝ 5歳：
_幼い頃から、将棋の才に見るべきものがあり、小学校に入っても学業に身が入らず、授業をさぼって、大
人たちと将棋ばかり指していたので、両親は学校に通わせることをあきらめ、丁稚奉公に出したが、やはり
かくれて将棋をやっていたため、どこも長続きせずに奉公先を転々とした。

西南戦争・・1877＝ **9歳**：
_将棋を指して生活して行くことを決意、
琉球処分・・1879＝11歳：_東京まで歩いて出、11世名人伊藤宗印を訪ねて入門。当時すでに初段程度の力があつたらしい。

明治14年政変1881＝13歳：
新体詩抄・・1882＝14歳：二段、

帝国大学始・1886＝**18歳**：

初の対等条約1888＝20歳：この頃、清水で次郎長と盃をかわしている。
帝国憲法発布1889＝21歳：
帝国議会始・1890＝22歳：_**四段となり**、
足尾鉉毒始・1891＝23歳：_**師匠の指図により、その添え状を携えて、西国遊歴に出立した。**

郡司千島探検1893＝25歳：師の伊藤宗印が死去。
日清戦争始・1894＝26歳：その途中、大阪で互いに知らずに、坂田三吉と初対局をしている。
日清戦争終・1895＝**27歳**：

八幡製鉄始・1897＝29歳：六段、
子規句歌革新1898＝30歳：七段、

ピアノ国産化・1900＝32歳：この年、小野五平が12世名人に就任。

日比谷公園・1903＝35歳：この頃、四段の時以来のすべての棋譜をつけてきた「備忘録」を掏られて失う。
日露戦争始・1904＝**36歳**：
日露戦争終・1905＝37歳：***実力上の最高位八段に昇進。**
満鉄発足・・1906＝38歳：坂田と対局し、勝利。
韓国反日暴動1907＝39歳：再び坂田と対局し、勝利。
アヲヲ 創刊・1908＝40歳：香香角落で対戦、初めて坂田に敗れた。
伊藤博文暗殺1909＝41歳：***自ら呼びかけて将棋同盟会(のち将棋同盟社)を結成。**

明治天皇没・1912＝44歳：
大正政変・・1913＝**45歳**：香落、ついで平手の対局で坂田に敗れた。

原敬首相暗殺1921＝53歳：***小野名人が没し、13世名人位に就く。**
水平社結成・1922＝**54歳**：
_明治期の将棋界衰微を体験したため棋界の団結を望み、
護憲三派圧勝1924＝56歳：_東京将棋連盟の結成に尽力。

金融恐慌・・1927＝59歳：_日本将棋連盟結成。

満州事変・・1931＝**63歳**：
_自らが、21年も待たされて名人に就いた時には、すでに最盛期を過ぎていたことに鑑み、その不幸を後輩
たちに味あわせたくないとの決意、

芥川直木賞始1935＝67歳：***世襲制名人を廃止し実力による名人位を提唱、自発的に引退して近代的な制度確立の範を示した。これに
より約300年続いた将棋の家元制度は廃止され、将棋界発展の基礎がつくられた。**
日中戦争始・1937＝69歳：
_その後も、多くの弟子を育て、

大政翼賛会・1940＝**72歳**：
日米開戦・・1941＝73歳：

敗戦・・・・1945＝77歳：
新憲法公布・1946＝78歳：_没した。